

平成21年度事務事業評価シート (20年度実施事業分)

事業番号		02 07 05	中期総合計画主要施策番号		5-04	担当課	部・課	企画部 人権・男女共同参画課	
事業名		男女共同参画社会づくり推進事業					内線	3741	
							E-mail	jinken-danjo@pref.nagano.jp	
事業の概要等	事業の目的	・男女共同参画の意識の啓発を図り、男女共同参画社会づくりを推進する。							
	事業の必要性	[現状(事業の目的との間にどのようなギャップがあるか)] 男女共同参画に関する県民の意識は徐々に高まってきているが、固定的役割分担の意識が根強く残る分野があるなど、男女共同参画社会づくりはまだ中途にある。 [原因分析(ギャップが発生している原因は何か)] ・男女共同参画意識の啓発、普及を分野毎に実施しているが、県民の男女共同参画に対する正しい知識と理解が不足している面がある。 [課題の特定(事業の実施により解決しようとする課題は何か)] ・県民の男女共同参画に関する認識を深め、女性も男性も固定的な役割分担に捉われず、様々な活動に参加できる環境を整える。 ・フェスティバルや地域フォーラムを毎年地域を変えて実施することで、より多くの県民に男女共同参画の意識の高揚を図る必要がある。							
		事業内容	・男女共同参画審議会の運営 ・男女共同参画推進指導委員の設置 ・調査・研究事業 ・男女共同参画社会づくり県民共同事業 ・男女共同参画地域づくり講座 ・男女共同参画社会づくり啓発事業 ・女性の活躍支援・トップセミナー						
	実施期間	S54 ~	根拠法令等	長野県男女共同参画社会づくり条例、長野県男女共同参画センター条例					
成果と達成状況	事業の目指す成果		達成度(期待どおり)の判定基準(H20)			達成状況		評価	
	男女共同参画フェスティバルや地域フォーラムを開催し、県民の男女共同参画意識の高揚を図る。また、地域づくり講座の実施等により多くの住民に男女共同参画に関する意識の啓発を図る。		・フェスティバル(須坂市で実施)への600人程度、地域フォーラム(波田町で実施)に300人程度の参加をめざす。 ・地域づくり講座4地区で200人程度の参加をめざす。 ・女性の活躍支援・トップセミナーを4会場で実施し200人程度の参加をめざす。 ・依頼に応じ、前年並みの出前講座の実施と参加をめざす。			フェスティバル750人、地域フォーラム541人、地域づくり講座4地区153人、女性の活躍支援・トップセミナー3会場163人、出前講座12回686人の参加がそれぞれあり、男女共同参画意識の高揚や、男女共同参画に関する知識と理解が深められた。		a.期待以上 b.期待どおり c.やや下回る d.期待以下	
事業コスト	区 分		単位	19年度	20年度		20年度の概要		
	最終予算額 (A)		千円	7,376	5,265	6,200	国庫・県単	国庫・県単	
	決 算 額 (B)		千円	4,607	4,113		実施方法	直接	
	B(H21はA)のうち一般財源		千円	2,249	1,957	2,401	歳出節別内訳等	・報酬:179 ・報償費:1,044 ・旅費:430 ・需用費:1,830 ・役務費:36 ・使用料:594	
	概 算 人件費	従事する職員数	人	3.70	3.70	3.70	(単位:千円)		
	概算人件費 (C)		千円	26,418	26,451	26,451			
概算事業費 (B(H21はA)+C)		千円	31,025	30,564	32,651				
事業実績	内 容		単位	19年度	20年度	21年度(予定)	左記以外の20年度の実績		
	男女共同参画フェスティバル参加者		人	510	750	600	啓発普及の効果をねらい、ポスターの作成やワーク・ライフ・バランスやポジティブ・アクションの事例を掲載したパンフレットを作成した。		
	男女共同参画地域フォーラム参加者		人	400	541	200			
	出前講座参加者(回数)		人	(7回) 234	(12回) 686	(8回) 300			
事業の課題	区 分		判 定 ・ 説 明						
	事業のニーズの変化		増加	横ばい	減少	判定の説明	・地域や職場での啓発では、パンフレットでの説明が有効であり、出前講座などで広報活動を継続していく。 ・市町村における計画策定や条例制定の機運が高まり、計画策定・条例制定市町村が増加している。 ・女性の参画が低調な分野において、引き続き取り組む必要がある。		
	県の関与を見直す余地		余地なし	当面余地なし	余地あり				
	有効性を高める余地		余地なし	当面余地なし	余地あり				
	効率性を高める余地		余地なし	当面余地なし	余地あり				
	課題の総括		・フェスティバルや地域フォーラムの実施に当たっては、開催市町村と県民会議構成団体と連携し、若年層を含めたより多くの県民の参加が得られるよう事業を実施していく。 ・地域づくり講座や女性の活躍支援・トップセミナーにおいては参加者の声を活かした講座にしていく。						